



佐藤翔助教が第 34 回日本自然災害学会学術講演会にて学術優秀発表賞を受賞しました(2015/09/24)

テーマ：災害科学，受賞

場所：山口大学（山口県山口市）

9月24日(木)，山口大学（山口県山口市）で日本自然災害学会が主催する「第34日本自然災害学会学術講演会」が開催され，当研究室の佐藤翔助教が「平成27年度学術優秀発表賞」を受賞しました。学術発表優秀賞は優れた発表を行った若手研究者（当該年の12月31日で満35歳以内の自然災害学会の会員）に対して授与されるものです。災害科学国際研究所からの受賞は，第30回（平成23年度）以来です。受賞対象となった論文は，次のものです。本発表は，佐藤翔助教のほか，当研究室の今村文彦教授，修士1年・平川雄太との共同研究の成果です。

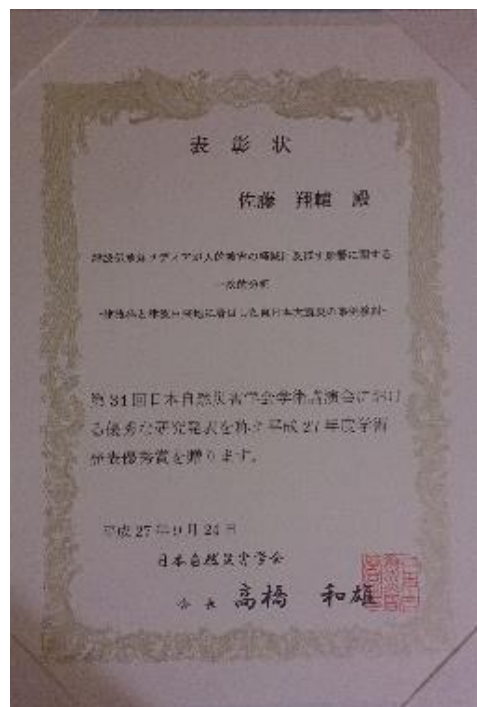
「津波伝承知メディアが人的被害の軽減に及ぼす影響に関する一次的分析

—津波碑と津波由来地名に着目した東日本大震災の事例検討—

（著者：佐藤翔輔，平川雄太，鹿島七洋，奥村誠，今村文彦）」



発表の様子（佐藤翔助教）



表彰状